

「安全で安心なまちづくり」に
関する広報紙

安全安心

みんなで始めよう！
犯罪のない
安全安心まちづくり

まちづくり ニュース

令和7(2025)年度
第2号



高知県犯罪のない安全安心
まちづくりシンボルマーク

全国地域安全運動に参加してみませんか！

全国地域安全運動とは・・・



安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、毎年特定の期間中に、地域安全活動に取り組む住民や事業者、防犯ボランティア団体、自治体、警察などが、取組を更に強化するとともに、相互の連携を一層深めようとする全国一斉の運動です。

(主催) 公益財団法人全国防犯協会連合会、都道府県防犯協会、
都道府県暴力追放運動推進センター、警察庁及び都道府県警察

今年の運動は・・・

例年、関係団体や行政機関等による様々な地域安全活動が県内各地で行われます。

多くの方に運動に参加いただき、地域に安心感を与え、地域を盛り上げていきましょう！

1 運動期間

令和7年10月11日(土)から10月20日(月)までの10日間

2 運動の重点テーマ

(1) 全国の重点テーマ

- ア 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止
- イ 子供と女性の犯罪被害防止

(2) 高知県の重点テーマ

- ア 自転車の盗難被害防止
- イ 万引きの被害防止

安全安心のためにできることを、みんなでコツコツ実行しましょう！

日の暮れが早くなると、屋外で「子供が一人でいるとき、子供だけでいるとき（犯人から見て子供の周りに大人がいない状況）」に事故や事件の被害に遭う危険性が高くなります。



そこで「ながら見守り」を推奨します。例えば、お出かけや帰宅、洗濯物の取込などの際に、見える範囲で子供の安全を地域の中で見守りましょう。「〇〇しながら見守りをする家（点）」が増えると、「複数の見守りの目線」が繋がります。

そうして、「子供を見守る大人の目（線）」ができあがり、常時、子供のすぐ近くで見守らなくても、路地等でも、見守り効果が期待できます。

また、自己防衛策として「防犯機器をすぐに使える状態で持つ」ことを推奨します。例えば「防犯ブザーやライト」の活用は、音や光で犯罪者や不審者を寄せつけない効果が見込まれ、防犯に有効です。

そして、自分の居場所や異常な状態を知らせたいときにも効果的で、例えば、暗がりや人通りがない場所で倒れたときに、音や光で周囲に知らせることで早期発見・救命等につながる可能性があります。

重要なことは「機器をすぐに使える状態で持つ」ことです。照明付き防犯ブザー（ブザー音とライト点滅が同時作動する）などの機器をカバンの袖ポケットやベルトに備え付けて、有効活用しましょう！

